



成田ロータリークラブ 週報



ROTARY SHARES

ロータリーは 分かちあいの心

国際ロータリー2007～08年度会長 ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

第 2319回例会 平成2008年4月18日(金)

点 鐘

小川 賢 会長

ロータリーソング

奉仕の理想

四つのテスト

大澤浩一会員

お客さま紹介

當間 忠様 コスモロータリー 遠藤 雅之様

ニコニコBOX



喜久川会員

先日、旧友に誘われ妻と草津に行き温泉に入り、花を楽しむことができた、楽しい思い出に感謝して



設楽会員

4月16日新入会員の勉強会に多数の参加があり充実した会であった、5月、6月と続いてあるので引き続きよろしくお願いします。
本日、表参道のモニュメントが決定したこと



松田幹事

土曜日、引っ越しが無事終わったこと、新入会員の勉強会が充実したことに感謝して

会長挨拶

小川 賢 会長



みなさんこんにちは、3月28日に突然に急逝されました石井会員の奥様からお手紙を頂きました。

『 前略 先日亡夫清葬儀の折には何度もご足労おかけし、また、ご丁寧なご厚志を幾重にも頂きまして誠に忝けなく厚くお礼申し上げます。ロータリー会員の皆様にも大勢ご会葬くださり、故人もどんなにか喜んだことと存じます。昨年4月に入会以来一年間、毎週の例会や各種の行事に大変楽しげに、熱心に参加していたように見受けました。』

長い勤務生活から開放されて、地元の方々とお付き合いを広げ、楽しく余生を送るつもりでございました矢先の急逝で、さぞ心残りだったことと存じます。生前故人が賜りましたご厚情に心からお礼申し上げます。何卒会員の皆様によるしくお伝え下さいませ。

尚、成田ロータリーの益々のご発展をお祈り申し上げます。拝眉の上ご挨拶致すところ略儀にて失礼ながら書面にてお礼申し上げます。 成田ロータリークラブ様 石井健子 』

改めまして、故石井会員の在りし日のご功績とご遺徳を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

去る15日、情報委員会の主催で新入会員を中心に22名による「ロータリーの創立と目的について」の勉強会が開催されました。内容については、2002年に発行された第2660地区戸田孝パストガバナーの卓話原稿「ロータリーってなんですか？」を引用させていただきました。文中に次の言葉がありましたのでご紹介いたします。

一期一会（茶湯一会集） 紀元1860年3月3日、雪ふる江戸城桜田門外で水戸浪士等に襲撃を受け殺害されて46歳の短い生涯を終えた井伊直弼は、名門彦根城主の井伊家に生まれながら、妾腹の生まれであったため、長い間、部屋住みの不遇時代を過ごします。しかし、その間も茶道に精進し、江戸幕府の大老職、井伊直弼よりも、石州流の茶人「宗観」として名を知られ、『一会集』を著わします。その中の一節に、

「そもそも茶の湯の交会（こうえ）は、一期一会といいて、たとえば、幾度おなじ主客と交会するも、今日の会に再びかえらざることを思えば、実にわれ一世一度の会なり。」と記されています。

たとえ同じ人に幾度会う事があっても、いま、この時の出会いは再び回って来ない、一生涯、ただ一度限りの出会いであるゆえ、一回一回の出会いを大切に命がけで臨まなければならないというのです。何も茶の湯だけではありません。私達の人生もまた然りです。

思えば、出会いの連続が私達の毎日の人生です。父と母と兄弟と、妻と主人と子供と孫と友人と、同僚と上司と部下達と！ 否、人間だけではありません。犬や馬の動物、木や草の植物、この世に存在するすべての物との出会いです。たとえ毎日毎日の親子の仲でも夫婦の仲でもその出会いが、一期一会と合点出来たら、自分の在り方、他とのかかわり合い方が自然と今までとは違ってくるはずです。私達の人生、一期一会の連続です。戻っては来ません。あだやおるそかに過ごせましょうか。

関西ロータリー研究会の席上で山口善三パストガバナー（第2650地区）が発言され、「私は常に一期一会の心で例会に出席し、その積み重ねで43年皆出席することができました。それには自分のライフ・ワークが挫折しないように、困難な仕事を乗り越え、健康に留意し、というような自己コントロールに心がけることによって達成することができるのです。このことによって、ロータリーから得られた幸福と喜びがあり、人間的な成長が得られたことを顧みてロータリーに入れていただいたことに深く感謝しています。これから、さらに50年に向かって精進したいと思います。」 「出会いの重なり」はロータリーの真価とも言うべき、例会出席は稀有な教育的特性をもっており、「ロータリーは人をつくる」の場となっている。さらに自分の職業生活の中では得られない、多くの違った職種の優れた指導者と知り合いになれることであり、そこからインスピレーションを受けて、自分自身が成長するとともに、例会で学んだものを自分の所属する業界に持ち帰り、さらに業界の人々にもこれを押し広めることが望まれています。例会は、道場でもあり、オアシスでもあるのだと書かれており、ロータリーの奥深さを感じさせられました。

委員会報告

クラブ管理運営 親睦委員会 鈴木リーダー

マッスルを見る家族移動例会できるだけ多くの皆さんの参加をお願いします
ポールハリスフェロー表彰
日暮会員



一分卓話

柴田会員 孔子の生涯について

卓話

當間 忠様 「私の戦争体験」



私は昭和17年、満蒙開拓を夢みて満洲へ渡り、終戦をはさんで8年間、かの地で過ごしてきました
いろいろ、特につらい思い出がありますが、あるとき馬に乗り子豚を2匹乗せ橋を渡りましたが片目にせざるを得ない状況にあった馬でしたのでバランスを崩し川に投げ出されたようなこともありました。終戦時は水も食料もない中、まさに着のみ着のままの状態です。ソ連軍から逃れてきました。軍人は歩いてシベリアへ送られる状況でした、野垂れ死にした人も大勢いました。その後数年

年間、もと住んでいた部落で暮らしましたが何もなし、必死の思いで生き延びてきたわけです。馬の世話をするため夜中2時に起き氷点下20度を越える寒さの中で水汲み等馬の世話をしたことが思い出されます。また当時、中国では内戦が起き、逃れるために6頭の馬をひいて雪道を夜中さまよったこともあります。「あへん吸い」の見張り役をやった事もあります。しばらくして「リュウ」さんという中国人の家で面倒をみてもらっていましたが、そこでは日本人の子供を引き取っていました、それがいわゆる残留孤児です。その一人に「リ・ケイウン」という子がいたことを覚えていました。

昭和62年ころ同じ名前の方が帰国残留孤児の名に合ったのを新聞で見、会いにいきました。本人であることが確認できましたが二度とこういうことがないように願っています。戦争で辛いみじめな思いをするのは一般人です、二度と戦争が起きないように願っています。

満蒙開拓移民(まんもうかいたくいみん)は、満州事変以降太平洋戦争までの期間に日本政府の国策によって推進された、中国大陸の旧満州、内蒙古、華北に入植した日本人の移民の総称。

概要

1931年の満州事変以降に本格化した日本からの満州国への移民は、当時の広田弘毅内閣は1936年に「満州開拓移民推進計画」を決議し、1936年から1956年間に、500万人の日本人の移住を計画、これを日本政府により推めた。この政策には、20年間に移民住居を100

万戸建設するという計画も打ち出されており、国策に裏打ちされた入植者の大陸への送り込みが図られた。

日本政府は、1938年から1942年の間には20万人の農業青年を、1936年には2万人の家族移住者を、それぞれ送り込んでいる。この移住は、日本軍が日本海及び黄海の制空権・制海権を失った段階で停止した。

背景

日本の政府により戦前に進められていた、北米アメリカ、南米ブラジルや南米諸国への日本人移民の入植移民数に段階的制限が加えられるようになった。また、昭和恐慌による当時の日本の地方の農村地域は疲弊と困窮をきわめており、窮乏生活を送らざるを得ない農業従事者らの強い移民志向もあつたとみられている。

フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』より

点 鐘 小川 賢 会長

出席表

会員数	出席義務者数	出席数	欠席数	出席率	前回補正
55	54	36	18	66.66%	100%

MAKE UP CARD

氏 名	月 日	ク ラ ブ 名
喜久川 登 会員	3月20日	会長ILKセナー
近藤 博貴 会員	4月12日	第3回ガバナ-補佐会議
沢田 喜信、藤崎 壽路、矢島 紀昭、渡辺 孝 小川 賢、神崎 誠、吉野 重夫、松田 泰長 石川 憲弘、岩松 孝昭、遠藤 英一、豊田 磐 伊藤 桂政、飯田 正雄、小林 孝行、大木 和 大沢 浩一、設楽 正行、今田 法一、橋 昌孝 諸岡 靖彦、石橋 菊太郎 各会員	4月15日	第1回 新入会員勉強会
喜久川 登、秋葉 博行、諸岡 靖彦 澤田 喜信、伊藤 正幸、佐瀬 和年 小林 孝行、鈴木 徳英 各会員	4月18日	次期クラブ管理運営委員会
小川 賢 会長、松田 泰長 幹事 平山 金吾 委員長、柴田 實 副委員長 設楽 正行 会員、喜久川 登 会員 秋葉 博行 会員、諸岡 靖彦 各会員	4月18日	長期計画委員会

クラブ会報委員 担当：佐田 聖一

* 詳しい例会内容を希望なさる方は、音声テープ・ビデオテープを御覧下さい。

週報への投稿・御意見はクラブ会報委員長 伊藤まで

E-mail ito-kin-rice-m@if-n.ne.jp

FAX 0476-22-5622

事務局 〒286-0127 成田市小菅 700
成田ビューホテル内
電話 / FAX 0476-33-8786

例会場 成田ビューホテル
電話 0476-32-1111
例会日 金曜日 12:30
例会出欠連絡先(直通)
電話 0476-32-1192 FAX 0476-32-1078